



食事だけじゃない！

市役所食堂の概念を超えた
新たな交流スペースが誕生します



- 地元食材を使った料理やスイーツ
- オクシズ材で癒しの木の香りとぬくもり
- 静岡市の魅力を大型スクリーンで紹介
- Shizuoka Wi-Fi Paradiseの整備
- 待ち合わせやくつろぎタイムに

静岡市役所新館3階にみんなが利用できる
「コミュニティ&ダイニングスペース 茶木魚」
が令和元年8月5日(月)にオープン！

『お茶カフェトークができる「交流」の場』
『静岡ならではの「情報発信」の場』

そんな想いを込めて誕生しました。

コミュニティ&ダイニングスペース
ちゃきっと
茶木魚

OPEN / 8:30-17:15
CLOSED / 土・日・祝日

～お食事以外でも自由にご利用いただけます～



大型スクリーン

日の光が差し込む明るい場所であるため12,000lmの高輝度プロジェクターを設置。
パブリックビューイング等に対応できるように音響装置も完備。



客席スペース

オクシズ材を使ったカウンター（桧）、天井（桧）、床（杉）、床材は張り方向を縦・横・斜めとし、アクセントを加えたデザインで、見た目にもオクシズの雰囲気演出。



縁側カフェ

世代を超えた交流を促す縁側カフェ。オクシズ材のぬくもりを感じられる空間。
家族で座れるテーブル、クッション、子ども用絵本棚等を設置。



物販ブース

オクシズ材の販売カウンター。
入口部分は木組みの格子によりあえて天井を低くし圧迫感を与えることで、客席スペースがより開放的に感じるような効果を演出。



お茶カフェつき厨房

カウンター、天井にオクシズ桧材を使った厨房。
静岡市産のお茶・食材を使い、食で静岡を感じるメニューを提供。



旧青葉小学校のアラスカ杉を大テーブルに使用



15~16年前の市内小学校で使用していた児童機の天板から切り出した材を腰壁の六角小口板に使用。